

天災、TVが壊れた！、季節は秋へ(2014.9.1)

酷暑をもたらした太平洋高気圧も勢いが弱まったかと思いきや、広島や北海道などに大雨をもたらし、土砂災害で多くの尊い人命が犠牲になった様で心からお悔やみ申し上げます。

気温でみると酷暑となり、降れば豪雨や雹となり、吹けば竜巻と成る異常な現象は、長い間に私たちが造りあげた温暖化の結果でしょうか？

もしそうだとしたら、原発などの処理よりも早くに、後世に及ぼすことのないような解決策を見出さねばならないでしょう。

山形でも局地的な異変は出ているようで、先月22日の夕方には、山形では川が流れるような道路になり、天童では車のフロントガラスが割れる程の雹が降ったそうです。尾花沢では雨でした。

この話はその後に山形で会合があり、そこに集まった人の証言ですので確かなものです。



つい先日突如として居間のTVが機能を果たさなくなりました。

“しばらくお待ちください”の表示が出て、その後しばらくすると霜降り模様が出てきます。仕方なく、携帯電話の画面でTVを観ました。

かなり時間を限定してのTV観戦になり、付けっぱなしは無くなりました。

五日後位に、他の部屋にあるTVを移動し、キャストカードを入れたら、なんと良く観えるのです。

びっくりしたり、喜んだりでしたが、これまでのTVより画面がやや小さいのに気付きました。

しかし、携帯電話で観ていたのでその小ささは気にならないものでした。

一度ランクを落とし、その後もとに戻ると、最初の物に及ばなくても我慢出来るのであるという事が解りました。おもしろいものですね。

様々なことに利用できそうです。



間もなく収穫の季節を迎えます。

当地にとっては幸いの暑さでスイカは沢山売れたし、頭を垂れている田んぼを観ていると豊作間違いのないようです。美味しいものを美味しく頂き、適当に運動をし、体重を増やさず、そして一口30回以上噛んで、ごっくり!!

「これが元気で長生き出来る、ひ・け・つ。」

それではまた来月に。



平成26年9月 院長 清治 邦夫